

2025年 8月 7日発行 会報 第1246号

今週のプログラム

(2025年 8月 7日 第1246回例会)

「能登支援活動・今後について」

全会員

次週のプログラム

(2025年 8月 21日 第1247回例会)

「ファイヤーサイドミーティング」

親睦委員会について

高田親睦委員長

第1245回 例会 (2025年 7月22日) の記録

2025-26年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー紹介

吉川 健之 ガバナー (大阪北 RC)

(ガバナー月信より抜粋)

皆さま、いよいよ新年度の幕開けです。このたび、2025-26年度ロータリー年度のガバナーを拝命いたしました吉川健之(よしかわ たけし)です。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。
本年度のRI会長メッセージは、「Unite for Good (よいことのために手を取りあおう)」です。直前にRI会長の交替というアクシデントがありましたが、このメッセージに変更はありません。この言葉には、私たちロータリアンが地域や国境を超えて団結し、善意と奉仕の心をもって行動することへの強い期待が込められています。

私自身のガバナーとしてのスタンスも、このテーマに深く呼応しています。

特に以下の三つの視点を大切にしていきたいと思います。

第一に、「学びと交流を通してロータリーを愉しもう」。

ロータリーの魅力は人と人との出会い、そしてそこから生まれる気づきと成長です。クラブ内外での対話を重ね新たな仲間を迎え入れることで、より活力あるロータリーを築いていきましょう。

第二に、「温故創新」。

長い歴史と伝統の中で培われてきたロータリーの精神を大切にしつつ、時代にふさわしいスタイルを柔軟に取り入れていきたいと考えています。

デジタル技術の活用によって、バーチャルとリアルが融合する新たな活動の形にも積極的に挑戦してまいります。

そして**第三に、「交流」**。今年度は、大阪・関西万博の開幕と共に始まる特別な一年です。

この大きな機会を活かし、国内外との交流をより一層深めていきたいと思います。ロータリーならではのネットワークを活かし、多様な価値観を共有し合える場を多く設けてまいります。

「Unite for Good」のもとに、**共に歩み、共に笑い、共に未来を創る**一年にいたしましょう。

一人ひとりの行動が地域に世界に、そして未来に確かな善の波紋を広げていくと信じています。

<出席報告> 藤田芳浩 SAA補助

会員数 15 名（内出席免除会員 4 名）

本日の出席者数 7 名

（内出席免除会員 0 名・名誉会員 0 名）

本日の出席率 63.64%

<ロータリーソング> 全会員

♪奉仕の理想♪

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の生業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー

国際ロータリー 第 2660 地区 吉川健之 ガバナー プロフィール（ガバナー月信より抜粋）

生年月日 1955 年 1 月 31 日生

職業分類 化粧品製造

職 業 タカラベルモント株式会社 ソティスジャパン株式会社

所在地 〒542-0082 大阪市中央区島之内 2-13-27

経 歴 1977 年 3 月 甲南大学 経済学部 卒業

1977 年 4 月～1983 年 3 月 大和銀行

1983 年 4 月 タカラベルモント株式会社 入社

1989 年 6 月 タカラベルモント株式会社 取締役就任

1995 年 6 月 タカラベルモント株式会社 常務取締役就任

1996 年 4 月 ソティスジャパン株式会社設立 代表取締役就任 現在に至る

2000 年 4 月 学校法人吉川学園 理事 学校長就任

2009 年 6 月 タカラベルモント株式会社 取締役退任 特別顧問就任 現在に至る

ロータリー歴 2006-07 年度 米山奨学委員長（理事）

2009-10 年度 青少年奉仕担当理事

2011-12 年度 友好委員長（理事）

2013-14 年度 国際奉仕担当理事

2015-16 年度 幹事

2017-18 年度 副会長（クラブ奉仕担当理事）

2017-18 年度～2019-20 年度

タンザニア野球オリンピックチャレンジ支援特別委員長

2019-20 年度 副会長・国際奉仕担当理事

2021-22 年度 会長

その他 ロータリー日本財団 メジャードナー

ロータリー日本財団 ベネファクター

ロータリー日本財団 ポール・ハリス・ソサエティ

ロータリー米山記念奨学会 米山功労者（マルチプル）

賞 罰 なし

2025 - 26 年度 ガバナー公式訪問合同例会

吉川健之 ガバナー

今年度ガバナーを拝命しております吉川健之です。

本年度のガバナー公式訪問は合同例会方式を中心に行っております。

お忙しい中、多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、例会場提供クラブには準備および本日の運営に対し、多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

先月、RI 会長エレクトの予期せぬ辞任劇があり、改めてフランチェスコ・アレツォ氏が就任されました。カルガリー国際大会でもご挨拶させていただきましたが、大変温厚な方とお見受けしました。

さて、第 2660 地区の 2025-26 年の活動スタンスを伝えさせていただきます。

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.

学びと交流を通してロータリーを楽しもう。

今やらなければいけないことは、クラブの活性化、すなわち地区の活性化です。

そしてキーワードを 2 つご紹介します。温故創新、そして交流であります。

ロータリー100 年を超える歴史があります。伝統と歴史から学ぶものもとても多くあります。そうしたところから、ロータリーのど真ん中にあるもの、思いや考えをしっかりと学びながらも、今の時代にふさわしい行動様式や、一部、思考パターンも変えていかなければ、環境変化に対応できないことは明らかです。

デジタルの活用も積極的に進めていきたい。バーチャルとリアルの融合の機会も作っていききたいと思います。新たな斬新なスタイルにもしっかりと取り組んでいきたいということでもあります。

過去にロータリーRI 会長は、変化にというキーワードでもって様々なメッセージを発信されています。

- ・ MAKING A DIFFERENCE 変化をもたらす。
- ・ ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける。
- ・ 継続と変化のバランスをとることの重要性。

常に変化や革新が求められてきました。変化を行動に移すには勇気が要ります。つまりくことも失敗することもあります。ただ、そうした果敢な挑戦や経験が次なる成果につながると信じています。

皆さんと一緒に、ぜひチャレンジをしていきたい。そしてチェンジしていかなければいけない。行動方針であります「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」という意味においてもあります。温故創新の精神で存分にチャレンジ・チェンジしていきたい。

次に、交流についてであります。

地区内において新たな交流の機会を創出していきたいと考えています。クラブの活性化も目指さなければなりません。

私は、地区への経験・出向が全くなかったものですから、地区を知るためガバナーノミニーの時に78クラブを回らせていただきました。

皆さん方には本当に温かくお迎えいただきました。「まだ来るのは早いんじゃないですか？」みたいなことも言われました。温かくガバナーになることを迎え入れていただいて、本当に感謝しています。回りながら、いろんなことを考える良い機会になりました。

今年度から交流活性化委員会を新設させていただきます。

異なるクラブ同士が、それぞれの奉仕活動や趣味などを通して交流をする。そしてクラブのみならず、地区全体で交流が活性化する。そうすることで、ロータリーの会員であることの楽しさ、価値が増えていく、ということで、地区全体が活性化するということを願っています。

地区における親睦・交流を交流活性化委員会が主催するものではありません。あくまでバックアップしていくということでもあります。

「SPORT FOR TOMORROW」というのは、タンザニアで私が知った言葉であります。外務省所管の「草の根文化無償協力資金」というものがあります。スポーツを通して地域、国の発展に寄与する。スポーツに関わる青少年の育成に寄与する。そうして将来の成長を支える人づくりをする。我々もその一端に参加させていただいて、甲子園スタジアムが立ち上がることになったわけです。

地区においても、スポーツを通して、FOR TOMORROW、すなわち明日のロータリーを活性化するための仕掛けにできないだろうかということでもあります。

スポーツや趣味を通して、仲間、先輩、後輩といったつながりによってロータリーの入会促進にもつながります。退会防止にもなる。そうした交流活動を積極的に進めていくサポートをしたいということでもあります。

娯楽だけでなく、奉仕活動でも地区における繋がりを生む機会をつくっていきたいと思っております。

地区内では囲碁大会を開催したいと思っております。また、さまざまな同好会活動を、新たにつくった地区のウェブサイトで共有していきたい。

さらには、ボウリング大会も開催したい。参加することでポリオ活動や子ども食堂への支援にしていく形にしたいと考えております。地区内には子ども食堂支援を行っているクラブが多くあります。

以上を踏まえ、地区の年次目標は以下の通りであります。

「より大きなインパクトをもたらす。」当地区は補助金の活用度合いが全国の中でもトップクラスだと財団委員の方からレクチャーを受けました。より早く、自発的に大きなインパクトを呼ぶ、小さなことでもいいですから、財団補助金を使った活動を目の前で、喜びを共有できるような補助金

であれば、なお素晴らしいなと思います。そうして奉仕活動がインパクトにつながるようなことが実現できればいいなと思っています。

財団寄付目標であります、年次寄付目標：150 ドル、ポリオプラス：50 ドル、恒久基金寄付：30 ドル。ローターアクトクラブにも 100 ドルが求められていますのでぜひお願いします。

参加者の基盤を広げるということでは、衛星クラブの新たな立ち上げや新クラブ立ち上げにチャレンジしていただきたいなと思っています。そうして積極的な交流を促進するための合同例会の機会も増やしていただきたいと思っています。交流によるクラブの活性化を促進してほしいという思いであります。

そして My Rotary への登録。My Rotary の登録率は上がってきていますが、クラブごとにまだ格差があります。登録いただければ様々な引き出しがそこにはあります。ぜひ My Rotary の登録を進めていただきたいと思っています。

本年度の RI 会長メッセージは、「よいことのために手を取り合おう」です。

去る 7 月 6 日、米山学友会 40 周年の総会に参加してきました。学びを通じて多くのロータリアンとの交流に価値があると感じました。卒業後もロータリーとの繋がりをうまく活用しています。また、6 月にインターアクトクラブの認証校を訪問してきました。昨年度の活動が各生徒に印象深く残っている様子でした。なんとかこれも継続・拡大していきたい。いいものを準備すれば参加は広がるということです。

とはいえ、奉仕活動を充実させるには会員数が必要です。残念ながら地区の会員数は右肩下がり。会員増強が求められるわけです。そのための交流活性化への取組みになります。

地区内の会員を知る機会となる、ガバナー月信の「地区内ロータリアンご紹介」へもぜひ協力いただきたい。

8 月 1 日には大阪・関西万博でテーマウィーク「平和と人権」に当地区が参加します。地区のウェブサイトから視聴登録もお願いしたい。

お願いばかりになりましたが、何とかしてクラブと地区を盛り上げていきたいと思っています。一年間よろしくお願い申し上げます。（2025 年 7 月 22 日 ホテルモントレ大阪において）





ガバナー公式訪問（合同例会）

於： ホテルモントレ大阪

